

(財)日本植物調節剤研究協会 創立四十周年記念行事を催す

財団法人 日本植物調節剤研究協会

当協会が昭和39年11月に設立されてから40周年に当たる。これを記念して平成16年12月10日、池之端文化センター（東京都台東区）において、記念行事の一環として、植物調節剤功労者表彰式及び懇親会を、約450名の出席者の基に開催した。

1. 植物調節剤功労者表彰式（16:00～17:00）

【式次第】

- (1) 開 会
- (2) 式 辞 協会長
- (3) 来賓祝辞 農林水産省消費・安全局長
元協会長
- (4) 表彰
- (7) 選考経過報告
- (4) 功労者表彰状の授与及び謝辞
- (5) 閉 会

創立40周年記念行事 植物調節剤功労者表彰式は、竹下孝史理事の進行により進められ、先ず開会の宣言を則武晃二専務理事が行った。

小林仁会長の式辞では、関係する多数の方々のご支援ご協力により40周年の記念行事を挙行できることを感謝し、その間、除草作業の省力・軽労化に対応すべく優れた植物調節剤の開発・普及面で努力し、わが国の農業生産の効率化・安定化に寄与した旨を述べた。また、わが国の農業を巡る情勢は厳しさを増しているが、食料の完全確保、食料自給率の向上、農業の多面的機能の維持推進を図ることが強く求められている。今後とも役職員一同、基本理念に沿って課せられた責務を果たすべく、一層の努力をすることを述べた。

来賓祝辞は、中川坦農林水産省消費・安全局長と吉沢長人元会長からいただいた。



植物調節剤功労者表彰式での式辞(小林会長)



植物調節剤功労者表彰式会場

中川担消費・安全局長（代読、福田豊治農林水産省消費・安全局植物防疫課長）は、協会が日本の植物調節剤の分野において、その利用法に関する研究の推進、薬効・薬害及び残留農薬などの農薬登録の推進に貢献し、具体的には水田除草剤ジャンボ剤、一発処理剤及び1和粒剤の開発とその利用技術の確立など、多岐に渡る業績を残している旨を述べられた。

吉沢長人元会長は、協会設立時の苦労話、特に協会名が研究協会となっただけで、また、設立後40年間一環して植物調節剤の発展に協会が多いに貢献したこと等を、今後の方向性等ふまえながら力強く熱く述べられた。

引き続き植物調節剤功労者の表彰が行われ、先ず千坂英雄表彰審査委員長から選考経過が報告され、小林仁会長から受賞者（農林水産省・独立行政法人関係24名、都道府県関係89名、会員関係94名、大学・植調協会・その他25名、計232名）を代表して松井重雄独立行政法人農業・生物系特定産業技術研究機構中央農業総合研究センター所長に表彰状が授与され、同氏が謝辞を述べられた。

その後、祝電の披露が行われた後、則武晃二専務理事が閉会を述べて、植物調節剤功労者表彰式の幕を閉じた。



植物調節剤功労者表彰状の授与

2. 懇親会 (17:00~19:00)

【式次第】

- (1) 開会挨拶 協会長
- (2) 来賓祝辞 農林水産省農林水産技術会議事務局長
- (3) 乾 杯
- (4) 懇 談
- (5) 締 め

懇親会は、横山昌雄事務局長の進行により進められ、先ず小林仁会長から挨拶を述べた。

来賓祝辞では、西川孝一農林水産省農林水産技術会議事務局長（代読、月山光夫農林水産省農林水産技術会議事務局地域研究課長）から、協会の特徴は「自ら試験研究を行う」点にあり、その成果は植物調節剤の普及を通じ、わが国の農業生産の効率化に大きく寄与したことを述べられ、農林水産技術会議でも今後10年程度を見据えて、「農業の持続的発展」を掲げ、低投入化、環境負荷低減等の研究に取り組む旨を述べられた。

引き続き乾杯は、山口利隆農薬工業会副会長の発声の基に行われた後、懇談に移り和やかな一時となった。

最後に小澤啓男技術顧問の締めにより、懇親会の幕を閉じた。



懇親会での乾杯(山口農薬工業会副会長)



懇親会会場



締め(小澤技術顧問)

農林水産省消費・安全局長祝辞

本日ここに、財団法人日本植物調節剤研究協会創立40周年記念行事として植物調節剤功労者表彰式が挙行されるに当たり、一言お祝いの言葉を申し上げます。

ご承知のように、植物防疫は、食の安全・安心を確保しつつ、病害虫のまん延防止を図り、農業生産の安全と助長を図るという極めて重要な使命を担っております。

近年におきましては、無登録農薬問題、マイナー作物の防除対策、環境に配慮した農薬の使用の推進について、より一層迅速かつ適切な対応が求められております。

このような情勢の下貴協会は昭和39年の創設以来、特に日本の除草剤及び植物調節剤の分野において、その利用法に関する研究の推進、並びに農薬登録に必要な薬効・薬害及び残留農薬などの調査研究を実施して農薬登録の促進に貢献してこられました。

具体的な研究業績としては、安全・省力・低コストな水田除草剤ジャンボ剤、一発処理剤及び1キロ粒剤の開発とその利用技術の確立などがあり、多岐に渡る業績を残しておられます。また、普及奨励事業などを通じて農林業の近代化を積極的に進め、数多くの有益な検討会を開催し、専門的知識の普及にも多大なる貢献をされました。

加えて、貴協会は公益法人として、業務運営の透明化及び適正化を図るため、その活動内容の情報公開を積極的に進められており、その活動は業界の規範となっております。

これもひとえに、貴協会、並びに関係各位の熱意と御努力のたまものであり、この間の御尽力に対し、心から敬意を表するとともに、厚く御礼を申し上げる次第であります。

植物防疫の分野においては、様々な課題が山積しているところですが、これらの諸課題に対応するにあたり貴協会が果たす役割は益々重要なものとなってきております。今後も引き続き御協力をお願いいたしますとともに、貴協会が更なる発展を遂げられることを願ってやみません。

最後になりましたが、関係各位の益々の御健勝と御活躍を祈念いたしまして、私のお祝いの言葉といたします。

平成16年12月10日

農林水産省消費・安全局長 中川 坦

農林水産省農林水産技術会議事務局長祝辞

財団法人日本植物調節剤研究協会が、昭和39年11月の発足以来、40年をお迎えになったことをお祝い申し上げます。

財団法人日本植物調節剤研究協会の特徴は、「自ら試験研究を行う」点にあると思います。その成果は、植物調節剤の普及を通じ、稲作をはじめとする我が国の農業生産の効率化に大きく寄与したことは、改めて申し上げるまでもありません。

さて、私ども、農林水産技術会議におきましては、現在、新たな農林水産研究基本計画を策定しているところであります。

この中で、今後、10年程度を見据えて重点的に取り組む領域のひとつとして、皆様とも関係の深い「農業の持続的発展」を掲げ、低投入化、環境負荷低減等の研究に取り組むこととしております。

この農林水産研究基本計画では、我が国の農林水産研究における産学官の役割分担と連携の方向を明確化することとしているところであるので、今後は、これに基づいて、皆様と連携して参りたいと考えております。

最後に、本日御参集の皆様の御発展をお祈りして、御挨拶とさせていただきます。

平成16年12月10日

農林水産省農林水産技術会議 事務局長 西川孝一

植物調節剤功労者表彰 選考経過報告

本年は、財団法人日本植物調節剤研究協会が昭和39年11月に発足してから満40年になります。これを機に、記念行事の一環として、植物調節剤(除草剤、植物の生育調節剤及び生育調節資材)の発展に貢献された方を、本協会の寄附行為に基づいて表彰することになりました。

そこで会長が独立行政法人試験研究機関の長、都道府県主務部長及び会員に推薦を依頼し、9月30日までに提出された候補者の推薦調書を基に、功労者表彰審査委員会を11月2日に開催いたしました。

功労者表彰審査委員会では、植物調節剤に関する開発及び利用の研究・普及に長年にわたり顕著な功績を挙げた方について、慎重な審査の結果、表彰者数232名を決定いたしました。

ここに、表彰の選考経過をご報告申し上げると共に、この意義ある記念事業が植物調節剤の開発利用普及をさらに推進せしめ、また協会の今後の発展の糧となることを心から願うものであります。

平成16年12月10日

財団法人日本植物調節剤研究協会創立四十周年記念
功労者表彰審査委員長 千坂英雄

受 賞 者 名 簿

1. 農林水産省・独立行政法人

氏 名	職 名
荒 木 均	東北農業研究センター水田利用部長
伊 藤 一 幸	〃 企画調整部研究調整官
伊 藤 昌 光	元四国農業試験場作物開発部畑作物育種研究室長
上 路 雅 子	農業環境技術研究所企画調整部長
椛 木 信 幸	中央農業総合研究センター企画調整部付
木 原 武 士	元果樹研究所カンキツ研究部上席研究官
楠 田 宰	野菜茶業研究所企画調整部連絡調整室長
腰 岡 政 二	花き研究所長
児 嶋 清	中央農業総合研究センター耕地環境部水田雑草研究室長
杉 山 浩	元農業研究センター耕地利用部除草剤研究室長
住 吉 正	九州沖縄農業研究センター水田作研究部雑草制御研究室長
高 梨 純 一	近畿中国四国農業研究センター企画調整部業務第1科長
高 原 利 雄	果樹研究所カンキツ研究部育種研究室長
高 柳 繁	元中央農業総合研究センター耕地環境部上席研究官
原 島 徳 一	元畜産草地研究所企画調整部業務第4科長
増 田 哲 男	東北農業研究センター総合研究部総合研究第4チーム長
松 井 重 雄	中央農業総合研究センター所長
松 葉 捷 也	元中央農業総合研究センター北陸農業研究官
松 村 修	中央農業総合研究センター北陸水田利用部栽培生理研究室長
丸 山 幸 夫	元作物研究所稲研究部稲栽培生理研究室長
持 田 秀 之	九州沖縄農業研究センター畑作研究部上席研究官
森 田 弘 彦	中央農業総合研究センター北陸水田利用部長
與 語 靖 洋	〃 耕地環境部畑雑草研究室長
渡 邊 寛 明	東北農業研究センター総合研究部総合研究第1チーム長
農林水産省・独立行政法人 計24名	

2. 都道府県

氏 名	職 名
有 村 利 治	北海道立中央農業試験場副場長
越 智 弘 明	〃 道南農業試験場研究部主任研究員
片 山 正 孝	元北海道農業改良課総括専門技術員
吉 良 賢 二	北海道立中央農業試験場作物開発部主任研究員
古 原 洋	〃 〃 企画情報室主査
澤 田 嘉 昭	〃 畜産試験場環境草地部草地飼料科研究職員

2. 都道府県(のつづき)

氏 名	職 名
中 野 雅 章	北海道立花・野菜技術センター野菜科長
山 口 作 英	” ” 技術普及部長
高 城 哲 男	青森県農林総合研究センター次長
豊 川 幸 穂	” ” 畑作園芸試験場研究調整監
伊五沢 正 光	岩手県久慈農業改良普及センター地域指導課長
小野田 和 夫	” 遠野農業改良普及センター地域経営指導課長
作 山 一 夫	” 水沢農業改良普及センター技術普及課長
吉 田 修 一	宮城県古川農業試験場水田利用部副主任研究員
児 玉 徹	秋田県農業試験場次長
庄 司 幸	” ” 技術普及部長
田 口 辰 雄	” 果樹試験場次長兼栽培部長兼農業試験場技術普及部主席専門技術員
大 谷 裕 行	福島県農業試験場相馬支場専門研究員
齋 藤 弘 文	” ” 会津地域研究支場専門研究員
酒 井 孝 雄	” 相双農林事務所双葉農業普及所主幹
山 内 敏 美	” 会津農林事務所会津坂下農業普及所普及企画グループ課長
市 川 岳 史	新潟県農業総合研究所作物研究センター専門研究員
植 木 一 久	” 農林水産部経営普及課参事
江 村 学	” 農業大学校教授兼園芸経営科長
種 田 貞 義	” 農業総合研究所作物研究センター長
中 川 武 則	” 佐渡地域振興局農林水産振興部生産振興課長
樋 口 賢 治	” 小出地域振興局農業振興部普及課長代理
川 口 祐 男	富山県砺波農業改良普及センター砺波南部班長
尾 嶋 勉	福井県農林水産部農業技術経営課長
前 原 貞 一	” 農林漁業大学校理事長
泉 澤 直	茨城県農業総合センター主任専門技術員
相吉澤 秀 夫	栃木県那須農業振興事務所副主幹
高 橋 栄 一	” 農業試験場園芸技術部花き研究室長
山 口 正 篤	” ” 作物経営部長
沖 嶋 壽 彦	元群馬県農業技術センター副所長
上 野 敏 昭	埼玉県農林総合研究センター米・麦担当専門研究員
福 田 和 明	埼玉県本庄農林振興センター副所長兼普及部長
松 本 達 夫	” 農林総合研究センター園芸研究所植木担当部長
猪 野 誠	千葉県農業総合研究センター北総園芸研究所畑作園芸研究室長
小 山 豊	” ” 生産技術部水田作研究室長
渡 部 富 男	” ” 企画調整部長
鈴 木 伸 一	神奈川県農業総合研究所根府川試験場専門研究員
小 林 和 司	山梨県果樹試験場栽培部ブドウ栽培科研究員

2. 都道府県(のつづき)

氏 名	職 名
武 井 和 人	山梨県農政部果樹食品流通課果樹担当主査
富 田 晃	" 果樹試験場栽培部落葉果樹栽培科研究員
小 幡 忠	元長野県農業技術課主任専門技術員
小 林 優	元長野県松本農業改良普及センター所長
木 田 揚 一	静岡県農業試験場作物部主任研究員
塚 本 行 雄	" " 高冷地分場長
尾 関 健	岐阜県農業技術研究所栽培部専門研究員
松 村 博 行	" 中山間農業技術研究所長
井 澤 敏 彦	愛知県農業総合試験場作物研究部長
前 川 哲 男	三重県科学技術振興センター農業研究部紀南果樹研究室総括研究員兼室長
松 尾 昭 彦	" 中央農業改良普及センター普及企画室副参事
川 村 戈十二	(社) 滋賀県植物防疫協会県試験員
鳥 塚 智	滋賀県湖北地域振興局環境農政部農業振興課技術・経営指導担当主査
小 林 秀 臣	京都府農業総合研究所長
澁 川 博 利	大阪府中部農と緑の総合事務所農業改良普及センター長
松 下 美 郎	大阪府立食とみどりの総合技術センターみどり環境部自然環境グループリーダー
小 林 尚 司	兵庫県立農林水産技術総合センター淡路農業技術センター農業部主任研究員
西 尾 和 明	奈良県農業技術センター研究開発部生産技術担当作物栽培チーム総括研究員
小 沢 良 和	和歌山県農林水産総合技術センター暖地園芸センター所長
高 橋 眞 二	島根県出雲農林振興センター農業普及部農畜産指導グループ農業改良普及専門員
赤 澤 昌 弘	岡山県農業総合センター農業試験場作物研究室研究員
小 野 俊 朗	" " " 果樹研究室専門研究員
杉 本 真 一	" " " 作物研究室専門研究員
中 島 映 信	" " " " 研究員
今 井 俊 治	広島県立農業技術センター野菜栽培研究部長
長谷川 繁 樹	" " 果樹研究所常緑果樹研究室長
山 崎 隆 生	広島県農業改良普及センター果樹普及課専任主査
藤 田 究	香川県農業試験場主席研究員
松 崎 朝 浩	" " 主席研究員
森 末 文 徳	" " 府中分場主任研究員
谷 口 弘 季	愛媛県農業経営課専門技術員
鳥 生 誠 二	" 農業試験場栽培開発室長
別 府 英 治	元愛媛県農業試験場長
今 林 惣一郎	福岡県農業総合試験場長
権 藤 忠 幸	" 八女地域農業改良普及センター所長
田 中 浩 平	" 農業総合試験場農産部専門研究員
姫 野 周 二	" 福岡地域農業改良普及センター果樹畜産課長

2. 都道府県(のつづき)

氏 名	職 名
稲 富 和 弘	佐賀県果樹試験場落葉果樹研究担当係長
横 尾 浩 明	〃 農業試験研究センター栽培技術部作物研究担当係長
青 木 和 年	熊本県立農業大学校副校長
木 下 猛 夫	元熊本県経営技術課農業専門技術員
木 村 良 一	熊本県宇城農業改良普及センター主幹
満 田 實	〃 立農業大学校園芸学科助教授
山 口 隆	元熊本県芦北農業改良普及所
川 野 信 壽	大分県柑橘試験場長
露 重 美 義	鹿児島県農業試験場大隅支場営農研究室長
都道府県 計89名	

3. 会員(会社・団体)

氏 名	職 名
岩 永 秀 樹	アリスライフサイエンス(株) 日本事業部開発部開発担当
岡 林 哲 也	石原産業(株) 執行役員バイオサイエンス営業企画本部商品開発部長
本 多 千 元	〃 バイオサイエンス営業企画本部商品開発部長補佐
家 城 敏 幸	石原バイオサイエンス(株) 取締役農業化学品営業副本部長兼東京支店長
伊 藤 秀 男	〃 中部支店長
大 石 信 明	〃 執行役員北海道支店長
風 間 泰 男	〃 農業化学品営業本部営業統轄部技術グループリーダー
鹿志村 始	〃 草津支店長
篠 崎 勝	〃 常務取締役農業化学品営業本部部長兼九州支店長
柴 山 泰 知	〃 常務執行役員西部支店長
杉 本 行 也	〃 農業化学品営業本部営業統轄部付ノンクロップ担当理事
竹 中 照 明	〃 東北支店長
永 原 義 久	〃 四国支店長
東 山 啓 治	〃 農業化学品営業本部営業統轄部長
小 柳 弘	(株)エス・ディー・エス バイオテック営業開発部除草剤プロダクトマネージャー
山 口 裕 紀	〃 技術統括部つくば研究所技術開発グループリーダー兼みのり農事試験場長
山 田 祐 司	〃 営業開発部除草剤プロダクトマネージャー
吉 永 小太郎	〃 営業開発部東京営業所長
渡 辺 司	〃 営業開発部営業統括部長
牛 口 良 夫	協友アグリ(株) 研究開発本部開発部長代理
岡 本 憲 一	〃 〃 開発部長
安 部 俊 博	クミアイ化学工業(株) 研究開発部次長

3. 会員(会社・団体)(つづき)

氏 名	職 名
池 部 達 哉	クミアイ化学工業(株) 東北支店販売グループマネージャー
大 川 哲 生	" 化学研究所主席研究員
小 川 安 則	" 生物科学研究所主席研究員
重 松 昭 二	" 名古屋支店次長兼普及グループマネージャー
宮 沢 武 重	" 企画普及部商品普及課主幹補
河 野 一 彦	(株) ケイ・アイ研究所代表取締役研究所長
川 本 章	K-I CHEMICAL DO BRASIL 社長
大河内 武 夫	三共アグロ(株) 農業科学研究所製剤研究グループ主任研究員
門 谷 淳 二	" " 生物研究グループ主任研究員
川 岸 秋 義	" " 製剤研究グループ主任研究員
小 笹 誠	" 東京支店営業第2グループ
坂 本 隆	" 農業科学研究所生物研究グループ専門研究員
佐 飛 寛	" " 製剤研究グループ主任研究員
谷 澤 欽 次	北海三共(株) 農業科学研究所研究顧問
寺 村 正 弘	元三共(株) 農業科学研究所
安 居 賢 治	三共アグロ(株) 滋賀工場岡山分工場長
森 島 靖 雄	シンジェンタ ジャパン(株) 開発本部除草剤開発部
田 中 易	住化武田農薬(株) 技術本部農業科学研究所リサーチマネージャー
東 谷 唯 史	" " 主席部員
石 井 毅	住友化学(株) アグロ事業部開発部
山 貫 重 夫	元住友化学工業(株) アグロ事業部技術顧問
藤 原 修 治	全国農業協同組合連合会総合営農対策部農薬研究室主任研究員
近 藤 直 彦	ダウ・ケミカル日本(株) ダウ・アグロサイエンス事業部門製剤開発担当マネージャー
松 本 哲 男	元ダウ・ケミカル日本(株)
松 谷 邦	元ダウ・ケミカル日本(株)
柳 澤 大 介	デュポン・ファームソリューション(株) 取締役マーケティング部長
柳 沢 健 彦	" マーケティング部長
山 口 利 隆	デュポン(株) 常務取締役 デュポン・ファームソリューション(株) 社長
湯 山 猛	デュポン・ファームソリューション(株) 業務・総務部長
石 川 公 広	日産化学工業(株) 農業化学品事業部緑化営業部主事
鈴 木 宏 一	" " 営業統轄部マーケティング担当部長
築 根 照 英	" " 福岡営業部長
縄 巻 勤	" " 企画開発部主席
平 井 康 市	" " 緑化営業部主席
藤 井 常 宏	" " 営業統轄部長
藤 山 正 康	" " 企画開発部主席
森 山 有紀男	" " 営業統轄部マーケティング担当課長

3. 会員(会社・団体)(つづき)

氏 名	職 名
若 山 健 二	日産化学工業(株) 農業化学品事業部札幌営業部農薬課長
渡 辺 重 臣	" 生物科学研究所農薬研究部主席研究員
川 名 貴	日本曹達(株) 小田原研究所生物研究一部長
瀬 谷 昭	" " 参与副所長
保 坂 秀 夫	" " 生物研究二部長
池 田 修	日本農薬(株) 原体事業本部特販部企画普及グループチーフ
大 塚 隆	" 営業本部マーケティング部マーケティンググループ専任課長
小 澤 雄 二	" 原体事業本部特販部企画普及グループ専任次長
鎌 田 祐 介	" 営業本部大阪支店長付専任課長
今 埜 隆 道	" " マーケティング部長
鈴 木 宏	" 海外事業部営業グループ専任課長
西 岡 均	" 総合研究所生物研究センター生物3グループ主任研究員
蜂 谷 陽 一	" 営業本部大阪支店長付専任次長
馬 淵 勉	" 総合研究所生物研究センター生物3グループリーダー
池 田 芳	野田食菌工業(株) 東京事務所農薬資材営業開発マネージャー
加 持 集 三	バイエルクロップサイエンス(株) 開発本部生物開発部除草剤グループ
五 島 敏 男	" 生産本部生産管理部
直 原 一 男	" マーケティング本部バスタグループ
鈴 木 久 人	" 開発本部生物開発部除草剤グループ
藤 田 文 雄	" マーケティング本部マーケティング支援グループ
堀 尾 誠 一	" " 畑作園芸除草剤グループ
丸 山 俊 城	" " 水稻除草剤グループ
宮 内 浩	" " 生物開発部除草剤グループ
八反田 哲 司	北海三共(株) 農業科学研究所化学グループ製剤担当
石 部 公 一	北興化学工業(株) 営業企画部長
内 山 次 男	" 開発部次長
大 前 寛	" 新潟支店技術課長
柴 田 俊 浩	" 営業企画部技術企画課長
高 畑 好 之	北興化学工業(株) 札幌支店技術課長
和 田 拓 雄	" 開発研究所嘱託
江 田 貞 文	三井化学(株) 農業化学品事業部生活環境チームリーダー
田 中 俊 実	" " 海外アグログループリーダー
西 田 誠	" 機能化学品研究所農業化学品グループ応用開発第1チームリーダー
新 美 達 生	三井東圧農薬(株) 営業企画部課長
三 富 正 明	明治製菓(株) 生物産業研究所長
会員(会社・団体) 計94名	

4. 大学・植調協会・その他

氏 名	職 名
石 井 康 雄	元農業環境技術研究所環境化学分析センター所長
石 倉 俊 治	元東京理科大学教授
稲 森 誠	東日本グリーン研究所常務理事
上 垣 隆 夫	元（財）日本植物調節剤研究協会理事
上 野 剛	（財）日本植物調節剤研究協会岩手試験地主任
加 藤 誠 哉	（財）日本食品分析センター顧問
城 戸 幸 雄	（財）日本植物調節剤研究協会北海道試験地
栗 原 肇	〃 愛媛試験地
鉄 塚 昭 三	名古屋大学名誉教授
佐 合 隆 一	茨城大学教授
佐々木 徳 明	（財）日本植物調節剤研究協会古川試験地主任
武 田 明 治	（社）全日本検数協会顧問
千 葉 和 夫	秋田県立大学短期大学部教授
辻 章 夫	昭和大学名誉教授・昭和薬科大学理事
富 永 茂 人	鹿児島大学教授
中 島 敏 男	（財）日本植物調節剤研究協会山口試験地主任
中 村 幸 二	埼玉県農林総合研究センター副所長
野 間 豊	千葉大学教授
真 板 道 夫	（財）日本植物調節剤研究協会理事
升 田 武 夫	元（財）日本植物調節剤研究協会技術顧問
松 永 孝 志	（財）日本植物調節剤研究協会熊本試験地主任
横 田 清	岩手大学名誉教授
丸 諭	千葉県農業大学校主幹
丸 山 正 生	中央大学名誉教授
吉 田 知 夫	（財）日本植物調節剤研究協会研究所
大学・植調協会・その他 25名	
受賞者合計 232名	